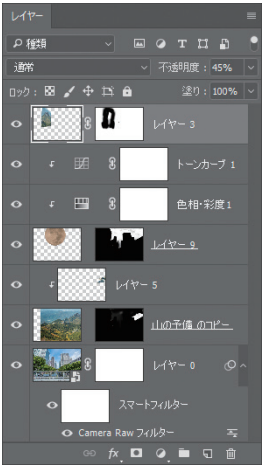
Tip 13

# グループでない複数のレイヤーの表示・非表示を同時に切り替えたい

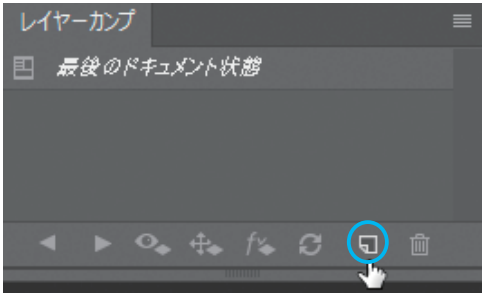
## ［レイヤーカンプ］機能を使うと可能

［レイヤーカンプ］というのは、レイヤーの状態を記録できる機能で、レイヤーのスナップショットのようなものです。本来は、異なるレイヤー状態を反映した作品の複数案を見比べる場合などに利用します。このレイヤーの状態を記録できる機能を使えば、複数のレイヤーの表示・非表示の同時切り替えが可能です。利用するには、［ウィンドウ］メニューから［レイヤーカンプ］を選んでレイヤーカンプパネルを表示しておきます。

1 これはすべてのレイヤーを表示した状態です。



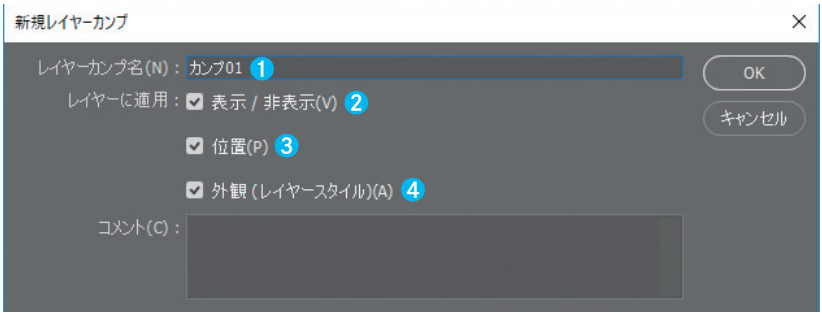

2 ［新規レイヤーカンプ］ボタンをクリックします。



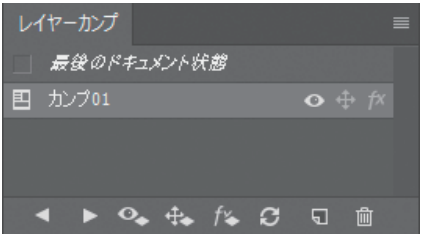

**Point**

ここではレイヤーの表示・非表示にレイヤーカンプを使っていますが、位置や外観も変更して記録しておくと、文字を入れる場所やレイヤー効果、写真の大きさなど、複数の違うデザイン案の比較が簡単にできるようになります。

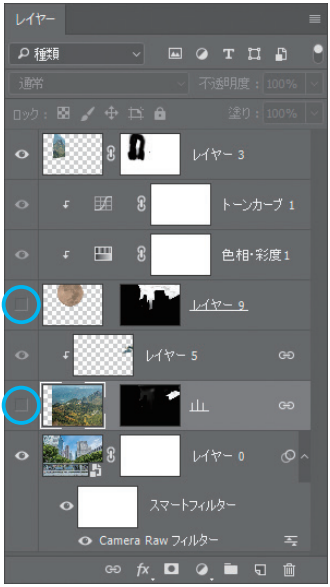
3 ［新規レイヤーカンプ］画面で、適当な名前（ここでは［カンプ01］）を入力します❶。また記録したい項目にチェックを入れます。表示・非表示の状態を記録する［表示／非表示］❷、位置を記録する［位置］❸、レイヤースタイルの状態を記録する［外観（レイヤースタイル）］❹の3つがあります。あとでレイヤーを移動したりレイヤースタイルを変更したりしたりしても、［位置］と［外観］にチェックを入れておけば、元に戻すことができます。ここではすべてにチェックを入れ、［OK］をクリックします。




4 レイヤーカンプパネルに、新たなレイヤーカンプ「カンプ01」が追加されます。




5 次にレイヤーパネルで2つのレイヤーを非表示の状態にしました。

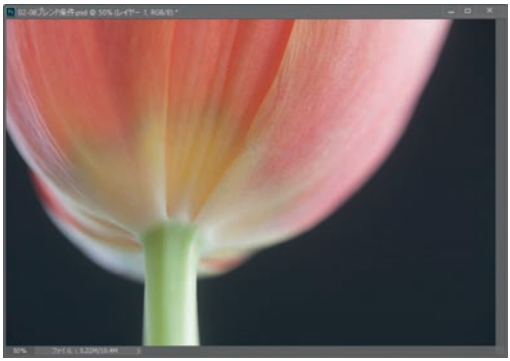


Tip 37

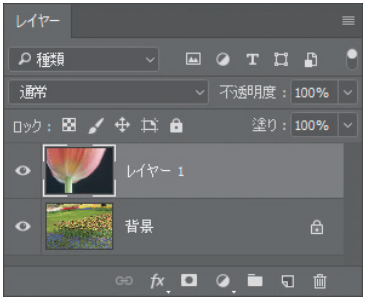
# レイヤー効果の［ブレンド条件］の使い方は?

## 上下に重なったレイヤー相互の濃度の違いで、どちらのレイヤーを優先表示するかを調整

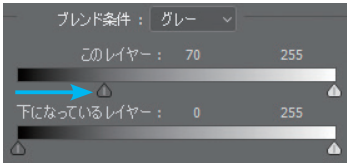
［ブレンド条件］では、上層または下層のレイヤーに対し、指定した濃度域を見せる、あるいは逆に隠すことができる機能です。例えば、上層レイヤーの暗い範囲の階調を隠して、下層を透けさせるといったことが可能です。レイヤーの［不透明度］がレイヤー全体を調整するのに対し、［ブレンド条件］では、階調を指定できるのが特徴です。［グレー］を指定した場合はRGB全体が対象になりますが、RGB画像の場合［レッド］［グリーン］［ブルー］を選ぶことで、各チャンネル（各色）に対する調整も可能です。



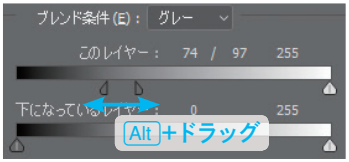
画像の状態です。上層は黒バックの一輪のチューリップ、下層のレイヤーはチューリップ畑です。



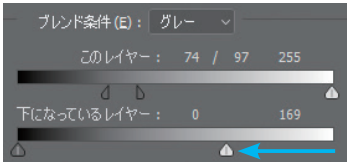
**1** レイヤーパネルで上層レイヤーをダブルクリックし[レイヤースタイル]を開きます。ここでは[ブレンド条件]を[グレー]にして[このレイヤー]の左端の▲のスライダーを右にずらします。すると上層レイヤーの黒い部分が透明になります。これは、上層レイヤーに対し、スライダーを動かした分だけ、シャドウの階調を透明にするという操作です。逆に右端のスライダーを操作することで、ハイライト階調を透明にすることができます。



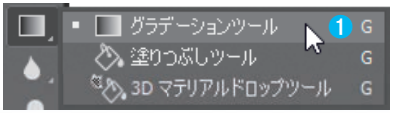
**2** 各スライダーは2つに分割することができます。分割しないと、スライダーで指定した階調値を境に透明と不透明がはっきりと分かれます。しかし、スライダーを分割すると、分割した幅に応じて透明～不透明の変化がなだらかになります。これにより、合成の不自然さを回避することができます。図は、シャドウのスライダーを分割した状態です。スライダーを分割するにはAltキーを押しながらスライダーをドラッグします。

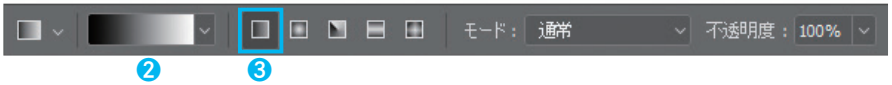


**3** [下になっているレイヤー]では、シャドウ側のスライダーを右にずらすことで下層レイヤーのシャドウ側の階調が見えてきます。ハイライト側のスライダーを左にずらせばハイライト側の階調が見えてきます。図は、ハイライトのスライダーを左にずらした様子です。

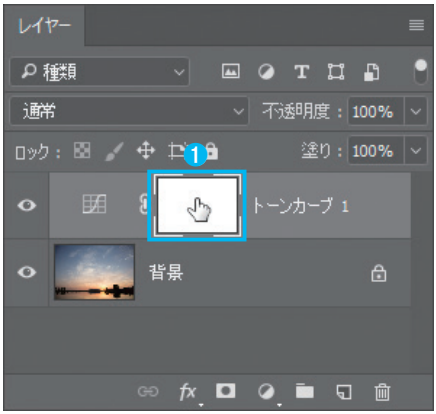


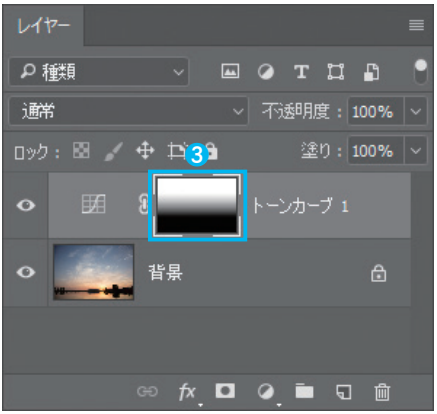
**2** 描画色と背景色を黒と白にします。[グラデーション]ツールを選び❶、オプションバーで[描画色から背景色へ]❷、[線形グラデーション]❸を選びます。

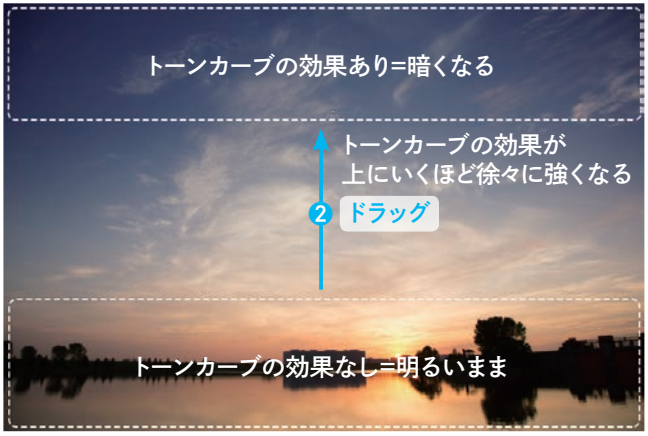



**3** 調整レイヤーのレイヤーマスクのサムネールをクリックしたのち❶、[グラデーション]ツールで図のように下から上にドラッグします❷。すると、描画色が白の部分は、調整レイヤーの効果が残り、黒の部分は調整レイヤーの効果がなくなります。またドラッグした幅の中では、上に行くほど徐々に効果が強まります。その結果、白で描画された画面上部はトーンカーブで暗くなり、黒で描画された画面下部は元の明るさのままとなります。白と黒の状態はレイヤーマスクサムネールで確認できます❸。




**Point**

ここでは[線形のグラデーション]を使いましたが、表現内容に合わせて[円形のグラデーション]なども試してください。

Tip 51

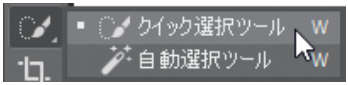
# 調整レイヤーの効果を部分に適用したい

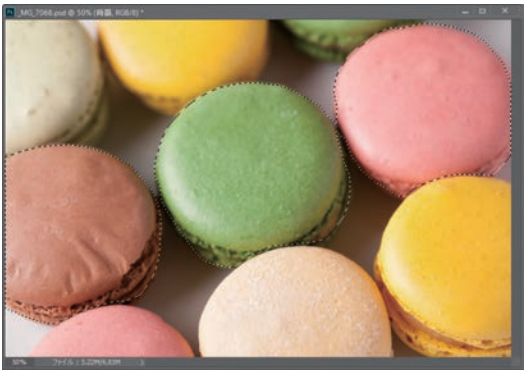
## レイヤーマスクを利用すれば効果を部分に適用できる

調整レイヤーを部分的に適用するには、やはりレイヤーマスクを編集して利用します。特定の部分に効果を適用したり、適用しなかったりさせるには、［ブラシ］ツールや［選択範囲］を使います。ここでは、効果の適用範囲を先に指定する方法と、あとから指定する方法の2つを紹介します。

### 先に適用範囲を指定する方法

1 マカロンの写真があります。このうち3つのマカロンだけを残して、あとはモノクロにしてみます。最初に選択範囲を作成しますが、ここでは作成しやすい中央の3つのマカロンを選択範囲にします。［クイック選択］ツールで図のような選択範囲を作成しました。



2 周囲のマカロンをモノクロにしたいので、Ctrl＋Shift＋Iキーのショートカットで［選択範囲を反転］を実行します。